

丹羽加賀守長重を略して賀長と書く。

よや

一記は太井五郎といひ——人の先祖は佐
川の国を領し——人よて寛永二乙亥三
月酉辰をありし下慈をこれ——と云

一 下村館

十二巻の国なり其事記今詳なるも下村
を領し——よや——一記は下村小笠原と
あり小笠原ハ氏なり假名にありんが追ふ
尋ぬ——但内城を語訪大明神の事は記

傳り小笠原能定と云——人南館を構り

よや

一 金峯山

下村ハ室町村とあり史料として代々伝
るより田地子別此等所別當を極樂寺と
いふ羽鳥流の経験なり平麻郡保良波の
親口よ——て金峯山といふ中王を出し當館
内より保良波系傳の及ハ極樂寺を岩坊
と云

一 鬼峯山